

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果

(単位：千円)

No.	事業名	①事業概要 ②主な事業実績	コロナ関連 事業費	うちコロナ交付金	事業の効果・分析等	成果目標	
						指標	実績
1	小松保育所施設整備事業	①会議室へのエアコン設置による換気促進 ②会議室エアコン設置工事	1,078 千円	70 千円	使用頻度が高い常用会議室へのエアコン設置により、換気しやすい環境が整ったことで新型コロナウイルス感染症対策に効果があった。	-	-
2	幼稚園施設整備事業	①職員室へのエアコン設置による換気促進 ②職員室エアコン設置工事	1,060 千円	900 千円	職員室へのエアコン設置により、換気しやすい環境が整ったことで新型コロナウイルス感染症対策に効果があった。	-	-
3	RPAの活用による業務の自動化推進事業	①RPAシステム導入により業務の効率化・自動化を図ることでポストコロナにおける新たな業務・働き方へ対応 ②RPAシステム使用料	1,263 千円	36 千円	RPAによる業務効率化により、時間外勤務の縮減等が図られ、庁舎内での長時間滞在を抑制できた。	-	-
4	生涯学習推進（成人教育）事業	①県外等からの成人式参加者のPCR検査費用 ②PCR検査委託料 @9,350円×61名	570 千円	100 千円	遠方から来町する成人者に対しPCR検査を行うことで、より安心して成人式に参加できる環境を提供できた。	-	-
5	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた町内事業者等の支援（経営支援交付金、新生活様式対応交付金）及び本事業に関する相談窓口開設や申請書作成支援を行うために商工会が雇用する人件費に対する補助 ②経営支援交付金：@600,000円(上限)×71法人、@300,000円(上限)×154個人事業所、新生活様式対応交付金：@100,000円×69事業者、商工会への補助金	92,386 千円	80,306 千円	商工会への相談窓口の設置により町内事業者の町、県、国等の各種補助金、各種事業の支援を行うとともに、各種支援交付金の交付により、町内事業者の事業継続が図られた。	-	-
6	観光施設新型コロナウイルス感染症予防対策事業	①観光施設の新型コロナウイルス感染対策のためのトイレ改修工事（自動手洗い、自動洗浄小便器等） ②置賜公園及びダリヤ園トイレの非接触化改修工事	15,620 千円	14,000 千円	不特定多数の利用者がいる公衆トイレにおいて、感染症の拡大防止を図った。	-	-
7	一般職員給与費等	①新型コロナ関連業務に係る職員時間外勤務手当 ②新型コロナ関連業務に係る職員時間外勤務手当	5,000 千円	5,000 千円	新型コロナ関連業務による職員に対する業務負担に対し、適正に手当を支給することができた。	-	-
8	法規事務経費	①住民の新型コロナウイルス感染防止を目的とし、押印の見直しやオンライン等の非接触による行政手続きを可能とするための規定類の整備 ②押印廃止に伴う例規集及び例規集サポートシステムの更新	1,650 千円	0 千円	新型コロナ対策としての押印廃止に関する体制を構築し、周知することができた。	-	-
9	地区交流センター管理運営事業	①各地区交流センター会議室の換気促進及び感染対策のためのトイレ改修（自動手洗い、センサー式便器等）に係る工事 ②大塚地区交流センター研修室・青年室エアコン設置工事、大塚・犬川・中郡・玉庭・東沢・吉島地区交流センタートイレ改修工事	16,662 千円	16,000 千円	大塚地区交流センター研修室へ2台のエアコン、青年室へ1台のエアコンを設置した。玉庭地区交流センタートイレ（1階・2階）及び中郡地区交流センタートイレの洋式化及び手洗器の非接触型への改修工事を行った。また、大塚・犬川・東沢・吉島地区交流センターの手洗器を非接触型とした。（大塚2箇所、犬川2箇所、東沢4箇所、吉島1箇所）上記工事によって、各地区交流センターにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止が図られた。	-	-
10	県外在住学生支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため帰省自粛を強いられている県外在住の本町出身学生へ町内産品を支援品として送付 ②支援品送付件数：@7,000円×67名	469 千円	200 千円	本町出身で帰省自粛を強いられている県外在住の学生の希望者67名に町産品を送付し、コロナ禍における学生の生活支援を行うことができた。	-	-
11	新型コロナワクチン集団接種移動助成事業	①新型コロナワクチン集団接種を受けるために利用したタクシー等乗車料金の初乗料金相当額を支援 ②支援件数：@770円×189件	146 千円	30 千円	新型コロナワクチン接種に伴う住民の交通手段として、集団接種利用者のタクシー乗車料金の一部を助成。住民の足を確保し、経済的負担の軽減を図ったことで、交通の面から新型コロナウイルス感染拡大防止に係る支援が実施できた。	-	-
12	生涯学習推進（成人教育）事業	①新型コロナウイルス感染防止のため成人式への参加を見送った県外在住者等への記念品送付 ②90名に記念品・DVDを送付	183 千円	50 千円	感染予防対策のため、成人式に県外から参加することができなかった方々へ、成人式の模様を録画したDVDと地元遅筆堂文庫のトートバッグを送り、晴れの成人式を感じてもらうことができた。	-	-
13	交流館あいばる施設整備事業	①新型コロナウイルス感染防止のためのトイレ手洗器自動水栓化工事 ②トイレ手洗器自動水栓化工事	1,107 千円	1,000 千円	蛇口等に触れずに手洗いができるため、感染予防に役立った。	-	-
14	フレンドリープラザ施設整備事業	①新型コロナウイルス感染防止のためのトイレ手洗器自動水栓化工事 ②トイレ手洗器自動水栓化工事	789 千円	600 千円	蛇口等に触れずに手洗いができるため、感染予防に役立った。	-	-
15	町民総合体育館整備事業	①新型コロナウイルス感染対策のためのトイレ手洗器自動水栓化工事 ②トイレ手洗器自動水栓化工事	626 千円	600 千円	蛇口等に触れずに水を出したり止めたりできることで、衛生的に手洗いできることから感染予防対策が取れた。	-	-
16	総合運動公園整備事業	①総合運動公園内クラブハウスの換気促進及び感染対策のためのトイレ改修（自動手洗い、自動洗浄小便器）に係る工事 ②クラブハウス換気扇設置・エアコン設置・トイレ手洗器自動水栓化工事	2,689 千円	2,000 千円	エアコンや換気扇を利用することで、空気を定期的に入れ替えることや、蛇口等に触れずに水を出したり止めたりできることで、衛生的に手洗いできることから感染予防対策が取れた。	-	-

No.	事業名	①事業概要 ②主な事業実績	コロナ関連 事業費	うちコロナ交付金	事業の効果・分析等	成果目標	
						指標	実績
17	新型コロナウイルス感染対策事業	①新型コロナウイルス感染対策のための各小中学校水道蛇口のレバーハンドル化工事 ②小・中学校レバーハンドル化工事（658ヶ所）	3,135 千円	2,500 千円	蛇口をレバーハンドルに変更したことで感染防止につながった。	-	-
18	一般職員給与費等	①新型コロナ関連業務に係る職員時間外勤務手当 ②新型コロナ関連業務に係る職員時間外勤務手当	986 千円	980 千円	新型コロナウイルス関連業務による職員に対する業務負担に対し、適正に手当を支給することができた。	-	-
19	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査	①衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の投票における新型コロナウイルス感染防止及び非接触対策 ②パーテーション、消毒用品、非接触体温計、投票用紙読取機増設ユニット、用紙自動交付機等の整備	1,534 千円	0 千円	感染防止対策を講じ、安全に選挙事務を執行することができた。	-	-
20	電子自治体推進事業	①型ウイルス感染症の影響で増加しているWeb会議に対応するための環境整備 ②ノートPC（11台）、大型モニター（1台）、ヘッドセット（15台）、集音マイクセット（1台）、Webカメラ（1台）、Wi-Fi子機（4台）	2,775 千円	2,400 千円	Web会議の利用を拡大する環境整備を行い、非接触下においても業務効率の向上が図られている。	-	-
21	防災対策拡充事業	①一斉情報システム（個別受信機配備）により密を回避する分散避難及び非接触型の避難誘導、避難所の換気効率向上のための大型扇風機整備 ②一斉情報配信システム整備、戸別受信機配備業務（100台）、大型扇風機（50台）	16,785 千円	10,000 千円	戸別受信機及び一斉情報配信システムの整備により、情報発信の多重化及び多様化が可能となったため、コロナ禍における分散避難誘導を図ることができた。また、令和4年8月3日からの大雨による災害時にも活用し、町民全体への情報発信及び分散避難や指定緊急避難場所への646人の避難に繋がった。	-	-
22	町有財産維持管理経費	①ウイルス除去機能付空気清浄機及びパーテーション整備 ②空気清浄機（X8pro×7台、X5s×28台、X3s×7台）、パーテーション（1台）	5,332 千円	3,500 千円	ウイルス除去機能付空気清浄機を役場庁舎内の住民利用スペース、執務室、会議室及び議場等に設置した。併せて打合せスペースにパーテーションを設置し、飛沫感染予防に努めたことにより、庁舎内での感染拡大は確認されおらず、感染拡大防止に大きな効果があった。	-	-
23	協働のまちづくり推進事業	①各地区交流センターが必要とする新型コロナウイルス対策備品等整備に対する支援として補助金を交付 ②補助金：@200,000円*7地区	1,400 千円	1,000 千円	地区経営母体が必要な感染拡大防止に係る備品等の整備が図られた。	-	-
24	地区交流センター管理運営事業	①東沢地区交流センター大ホールへのエアコン設置工事による換気促進 ②大ホールへのエアコン設置工事	5,115 千円	4,000 千円	東沢地区交流センター大ホールにエアコン（4台）の設置を行い、換気効率の向上が図られた。	-	-
25	斎場運営事業	①斎場への網戸整備による換気促進及びサーマルカメラの設置 ②網戸設置工事、サーマルカメラ（1台）	402 千円	300 千円	斎場において、ご遺族の意思を尊重しつつ、適切な感染対策を講ずることができ、斎場従事者も安全、安心に業務を遂行できた。	-	-
26	地域子育て支援事業	①子育て支援センターでの感染防止を図るためのサーマルカメラ設置 ②サーマルカメラ（1台）	242 千円	200 千円	不特定多数の来場者に対する検温を徹底することで感染対策ができた。	-	-
27	小松保育所管理経費	①小松保育所での感染防止を図るためのサーマルカメラ設置 ②サーマルカメラ（1台）	242 千円	200 千円	入所児童86人と保護者及び施設施設職員の体調管理に活用し、感染者を最小限に抑えられた。	-	-
28	小松保育所施設整備事業	①小松保育所への網戸設置による換気促進 ②網戸設置工事	138 千円	30 千円	保育室2室と面談室の網戸を設置し、定期的に換気を行うことで感染対策が図られた。	-	-
29	幼稚園施設整備事業	①町立幼稚園2園への網戸整備による換気促進 ②網戸設置工事（北斗幼稚園・美郷幼稚園）	1,650 千円	1,000 千円	北斗幼稚園においては遊戯室や廊下に計26枚、美郷幼稚園においては保育室や遊戯室に計20枚の網戸を設置し、定期的に換気を行うことで感染対策が図られた。	-	-
30	農村環境改善センター施設維持管理経費	①網戸及び大集会室の換気用スライドドアの整備による換気促進 ②網戸設置工事、スライドドア整備工事	583 千円	500 千円	大集会室の換気が容易になり換気促進が図られた。	-	-
31	6次産業化推進事業	①森のマルシェでの感染防止を図るためのサーマルカメラ設置 ②サーマルカメラ（2台）	484 千円	484 千円	体温計の設置により、来客者の入場前の体温測定を徹底することができた。	-	-
32	かわにし花いっぱいプロジェクト事業	①コロナ感染拡大による花きの需要減少に対する町内産花きの消費拡大を図るため、町内小中学校・幼児施設への挿花の設置及びフラワーアレンジメント購入補助 ②挿花設置17施設×6回、フラワーアレンジメント購入補助 @2,000円×100件	812 千円	500 千円	町内小中学校、幼児施設に定期的に挿花を設置したことで、コロナ禍で需要が減少した花きの消費拡大が図られた。アレンジメントの購入支援についても予算上限までの申請があったため、花き類の消費拡大につながった。	-	-
33	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業	①町内事業者への経営支援交付金交付の上乗せ交付及び飲食店が実施するテイクアウト事業への補助金交付 ②経営支援交付金：@400,000円(上限)×28法人、@200,000円(上限)×71個人事業所、@200,000円(上限)*24店、テイクアウト支援補助金：@200,000円(上限)×24店	28,479 千円	15,000 千円	コロナ禍の影響を受けた町内事業者に対し、経営支援交付金を上乗せ支援を行うことにより、経営及び事業継続の支援となった。また、令和3年10月30日～令和3年12月31日の期間に、町内参加飲食店で、テイクアウト・出前を利用した場合に、利用金額に応じて現金割引を行い、テイクアウトや出前の活用が促進され、感染リスクを抑えながら消費喚起効果が認められた。	-	-
34	プレミアム付商品券発行事業	①プレミアム率30%の商品券の販売による町内における消費喚起 ②プレミアム付商品券1セット6,500円分を5,000円で販売（使用総額51,808,500円、うちプレミアム分11,955,808円）	15,142 千円	10,000 千円	令和3年12月4日～令和4年2月28日の期間に使用できるプレミアム付商品券を5,000円（プレミアム率30%）で販売し、総発行枚数104,000枚のうち使用枚数103,617枚、利用率99.6%であり、町内での消費拡大に寄与した。	-	-

No.	事業名	①事業概要 ②主な事業実績	コロナ関連 事業費	うちコロナ交付金	事業の効果・分析等	成果目標	
						指標	実績
35	浴浴センター管理運営事業	①浴浴センターまどかでの感染防止を図るためのサーマルカメラ設置 ②サーマルカメラ（1台）	242 千円	200 千円	サーマルカメラの設置により感染拡大を防止する環境を整えることができた。	-	-
36	住宅建設支援事業	①コロナ禍において受注が減少している町内建設事業者等の活用を促すための住宅リフォーム工事補助（町単独補助分の財源として活用） ②リフォーム補助金：@22,000～150,000円×54件	5,013 千円	5,000 千円	町内建設事業者等の活用により地域経済の活性化を図った。（補助対象工事費の総額104,777千円）	-	-
37	若者定住住宅支援事業	①住宅建設による町内事業者への波及や若者定着による地域経済の活性化を目的とした住宅建設工事補助 ②住宅取得補助金：@500,000円（上限）×5件	2,200 千円	2,000 千円	町内建設事業者等の活用、若者等の定住により地域経済の活性化を図った。（補助対象工事費の総額127,101千円）	-	-
38	パークゴルフ場管理運営事業	①パークゴルフ場での感染防止を図るためのサーマルカメラ設置 ②サーマルカメラ（1台）	242 千円	200 千円	サーマルカメラの設置により感染拡大を防止する環境を整えることができた。	-	-
39	中央公民館管理運営事業	①中央公民館での感染防止を図るためのサーマルカメラ設置 ②サーマルカメラ（1台）	171 千円	170 千円	入館時の体温測定を徹底することで感染拡大防止や感染症に対する注意意識の向上が図られた。	-	-
40	交流館あいばる施設整備事業	①多目的ホールへのエアコン整備による換気促進 ②多目的ホールエアコン設置に伴う設計・工事	13,439 千円	10,000 千円	新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用し、大勢の方が集まる場所であるため、夏場の換気の徹底と冷房による熱中症対策が重要であり、エアコンの設置により感染拡大防止対策が図られた。	-	-
41	稲作経営継続支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による令和3年産米概算金の減額に係る稲作経営者への次期策支援補助金 ②@1,000円（10a当たり）×192,410a	19,241 千円	17,143 千円	次期作に必要な種子購入費に対して支援し、稲作経営者の営農継続が図られた。	補助金交付件数 790件	704件
42	総務事務経費	①感染防止を図るための職員のテレワークや庁舎外への分散執務環境整備及び業務における抗菌・非接触化への対応 ②パソコン（5台）、抗原検査キット（100セット）、抗ウイルス名刺台紙（34,500枚）、庶務事務システム・庁舎外執務環境ネットワーク構築、非接触対応	5,683 千円	5,300 千円	庶務事務システム導入により、職員の勤怠関係の各種手続きが電子決済となり、非接触下においても業務効率の向上が図られ、合わせて職員の勤務状況が電子上で確認可能となっている。	分散執務施設数 2施設	1施設
43	電子自治体推進事業	①感染防止を図るための職員のテレワークや分散執務に対応するためのタブレット端末等の整備 ②タブレット端末（5台）及び周辺機器類	1,800 千円	1,000 千円	ペーパーレス会議、執務環境の分散に対応する環境整備を行い、非接触下においても業務効率の向上が図られている。	整備端末数 5台	5台
44	広報広聴事業	①オンラインでの取材や効果的な情報発信による感染防止を図るための環境整備 ②広報誌等編集用パソコン（2台）	489 千円	400 千円	端末を活用することにより、広報誌をはじめ、ホームページやLINE等のweb媒体を使ったコロナに関連する情報発信の業務効率が向上し、きめ細やかな情報発信による注意喚起が図られた。	広報誌によるコロナ関連情報の発信回数 12回（R4）	12回
45	選挙管理委員会事務局経費	①投票票における密回避・非接触化を図るための備品整備 ②投票用紙自動読取機増設ユニット（2台）	1,804 千円	1,800 千円	投票用紙自動読取機増設ユニットにより、開票作業にかかる人員が削減され、開票事務担当者の密回避が図られた。	投票用紙自動交付投票所割合 100%	0% （半導体不足等による生産休止のため未導入）
46	議会ICT活用事業	①コロナ禍における非接触・密回避を図るためのタブレット議会システムの導入 ②タブレット端末（25台）及び周辺機器類、ペーパーレス会議システム導入委託料・使用料	5,906 千円	5,500 千円	タブレットの整備により、コロナ渦でも、非接触でデータ化した会議資料を送付することにより、円滑な議会運営が図られるようになる。さらには、感染拡大により委員会等参集困難であっても、オンラインで会議を開催し議案審議を行うことができるなどの可能性が広がった。	タブレット整備数 25台	25台
47	町有財産維持管理経費	①公共施設における感染防止備品・消耗品整備 ②アクリルパネル（22台）、窓口マイクスピーカー（6台）、アルコールディスペンサー（4台）、アルコール消毒液スタンド（1台）、バリケード（20台）、アルコール消毒液他除菌・消毒用品	1,433 千円	800 千円	手指消毒用アルコール、自動アルコール消毒機器、液体せっけん、除菌シート、便座クリーナー等の整備により接触感染のリスク低減に努めた。車止め、アクリルパネル及び窓口マイクスピーカー等の整備により、ソーシャルディスタンスの確保並びに飛沫感染予防に努めた。これらの対応により、庁舎内での感染拡大は確認されず、感染拡大防止に大きな効果があった。	活用施設数 1施設	1施設
48	防災対策拡充事業	①コロナ禍における分散避難等の情報を確実に伝達するための携帯電話回線を活用した戸別受信機の整備及び避難所での感染防止のための環境整備 ②専用戸別受信機設備（100台）及び保守、発電機（9台）、投光器（7台）、携行缶（14台）、拡声器（20台）、web会議・配信用パソコン（2台）	23,244 千円	21,000 千円	専用戸別受信機の整備により、情報発信の多重化及び多様化が可能となったため、コロナ禍における分散避難誘導を図ることができた。パソコンについては、令和4年8月3日からの大雨による災害時にも活用でき、情報収集や情報発信に寄与した。発電機や拡声器についても、7か所以上の避難所等での活用が可能となった。	戸別受信機設置数 100台	100台
49	デマンド型乗合交通事業	①1台当たりの乗り合い人数を減らし、利用者の新型コロナウイルスへの感染リスクの低減を図るためのデマンド型乗合交通の増便 ②222便の増便	441 千円	290 千円	新型コロナウイルス感染対策のため、デマンド車両乗車人数を通常の4人から2人とし、車両の増便便数を増加した。車両の増便を図ったことにより、デマンド型乗合交通における新型コロナウイルス感染拡大防止が図られた。	デマンド交通利用者数 6,920人（R3）	7,265人
50	公共交通対策事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により減収した山形鉄道株式会社に対する県・沿線市町との協調支援 ②本町支援分補助金：1,410,000円	1,410 千円	1,410 千円	新型コロナウイルス感染症拡大により利用者が減少した山形鉄道株式会社へ補助金の交付を行い、地域の移動手段の継続的な確保を図った。	当期利益 ±0円（R3）	△4,939千円
51	地区交流センター管理運営事業	①犬川地区交流センター事務室への網戸設置による換気促進 ②網戸設置工事	1,760 千円	1,000 千円	犬川地区交流センター事務室の窓改修及び換気用網戸の設置（7箇所）を行い、換気効率の向上が図られた。	換気用窓への網戸設置率 100%	100%

No.	事業名	①事業概要 ②主な事業実績	コロナ関連 事業費	うちコロナ交付金	事業の効果・分析等	成果目標	
						指標	実績
52	申告相談感染拡大防止対策事業	①税申告来場者の検温作業等委託及び感染防止備品整備 ②除菌・検温等業務委託（25日間）、ウイルス除去機能付空気清浄機（4台）、抗菌仕様テーブル（26台）、パーテーション（10台）、アクリルパーテーション（11台）、非接触化・デジタル化を図るためのスキャナ等	3,271 千円	3,000 千円	新型コロナ感染拡大防止として、受付業務を委託し、除菌・検温等を徹底することができた。また、備品整備においては、空気清浄機、パーテーション等を設置し、感染を予防した。これらの対応により、申告相談を経路とした感染は確認されなかった。	申告相談利用者数 1,700人	2,064人
53	民生委員児童委員協議会活動	①民生委員児童委員及び主任児童委員に対するマスク等の配布による感染予防 ②マスク・携帯用消毒液、非接触型体温計（2台）、消毒用アルコール	311 千円	200 千円	新型コロナ感染予防として、民生委員が日ごろ行う訪問活動の際にマスクの着用や除菌ができるように民生委員55人に対してマスクと消毒液を配布。また、会議などを行う場合は体温の計測や手指の消毒ができるよう設置し、感染を予防した。民生委員を経路とした感染は確認されていないため、効果があったものと思われる。	民生委員児童委員活動日数 4,500日（R4）	5,336日
54	高齢者いきがい事業	①高齢者健康レクリエーション大会における感染防止用消耗品 ②マスク、消毒液、フェイスシールド、ビニール手袋	85 千円	80 千円	新型コロナウイルスの感染が拡大したため大会を中止した。令和5年度以降、大会を開催した際に感染予防対策として使用する予定。	大会参加者数 1,000人（R4）	大会中止
55	生きがい交流館施設維持管理経費	①生きがい交流館における新型コロナウイルス感染防止に係るウイルス除去機能付空気清浄機の整備 ②ウイルス除去機能付空気清浄機（3台）	302 千円	300 千円	施設に必要なコロナ対策備品を配備できたため、感染者を出さずに運営できた。	設置台数 3台	3台
56	介護通所型サービスA感染予防対策支援	①町が委託する通所型サービスAにおける新型コロナウイルス感染防止に係るウイルス除去機能付空気清浄機の整備 ②ウイルス除去機能付空気清浄機（2台）	201 千円	200 千円	介護予防のサロン開催場所である2か所に「ウイルス除去機能付空気清浄機」を設置することにより、通所サービスの感染予防対策を行うとともに、利用者（月間利用者約60名）をはじめ、ご家族、職員も安心感を持つことができた。	設置台数 2台	2台
57	子育て支援センター新型コロナ対策事業	①子育て支援センターにおける子どもの手洗い環境改善工事及び抗菌遊具の整備 ②蛇口レバーハンドル化工事、給湯器設置工事、抗菌ボールプール（1台）、抗菌ボール（一式）	840 千円	500 千円	蛇口のレバーハンドル化により、不特定多数の人が接触する部分を減らすとともに、給湯器を設置することで、乳幼児の寒冷期の手洗いをしやすくし、継続して感染対策を行うことができた。また、抗菌のボールプールとボールを用いることで、冬季や悪天候の日にも児童が室内で安全に遊ぶことができる環境を整えることができた。	施設利用者数 2,000人（R4）	2,002人 （子ども）
58	小松保育所新型コロナ対策事業	①小松保育所の蛇口レバーハンドル化工事及び感染対策備品整備 ②蛇口レバーハンドル化工事、自動手指消毒器（1台）、足踏式ディスペンサー（1台）、抗菌食器（一式）、パソコン（8台）	1,908 千円	1,000 千円	蛇口のレバーハンドル化により、不特定多数の人が接触する部分を減らすとともに、自動手指消毒器や足踏式ディスペンサーの設置により、接触せずに手指の消毒ができ、感染対策を講じることができた。また、給食で使用する食器を抗菌仕様のもので変更することで、安全安心な給食を提供することができた。パソコンの整備によりリモート会議やクラスごとの業務に利用し、コロナ禍においても業務の効率性を高めることができた。	レバーハンドル設置数 41か所	41か所
59	幼稚園新型コロナ対策事業	①町立幼稚園2園の蛇口レバーハンドル化工事及び抗菌遊具・感染対策備品整備 ②蛇口レバーハンドル化工事（北斗・美郷幼稚園）、抗菌ミニトンネル（美郷幼稚園1セット）、抗菌クッションマット（美郷幼稚園1セット）、パソコン（3台×2園）	1,437 千円	1,000 千円	蛇口のレバーハンドル化により、不特定多数の人が接触する部分を減らすとともに、室内遊戯用に抗菌性のミニトンネルとクッションマットを利用し、冬季や悪天候で外遊びができない日にも幼児が安心して遊ぶことができる環境を整えることができた。またパソコンの整備によりリモート会議やクラスごとの業務に利用し、コロナ禍においても業務の効率性を高めることができた。	レバーハンドル設置数 39か所	39か所
60	農村環境改善センター施設維持管理経費	①農村環境改善センタートイレの洋式化によるウイルス飛散防止 ②洋式トイレ設置工事（7基）	7,920 千円	7,000 千円	トイレの洋式化により、施設利用者の新型コロナウイルス感染予防対策としての衛生環境改善が図られた。	洋式トイレ設置数 7基	7基
61	持続可能な農業支援事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大により減収している園芸農家の営農継続、省エネ・低コスト化、省人化・接触機会低減の取り組みに対する補助金 ②補助金：500,000円（上限）×81件	29,796 千円	29,700 千円	コロナ禍で販売額が減収した園芸農家の資材導入を支援したことで次期作への営農意欲が向上した。コロナ対策として省力化・省人化機械の導入も進んだため、コロナ禍においても作業効率向上が図られた。	支援農家数 70件	81件
62	コロナ禍における6次産業化補助事業	①ウィズコロナ下での新たな付加価値を生み出す消費・投資を促進するため、町内農水産物を活用した6次産業化の取り組みに対する補助金 ②補助金：3件（上限：ハード500,000円、ソフト300,000円）	311 千円	300 千円	コロナ禍により社会経済活動が停滞している中において、新たな付加価値を生み出す6次産業化への取り組みを支援したことで、作業効率の向上や新たな製品の販売機会の創出が図られた。	補助金活用件数 2件	3件

No.	事業名	①事業概要 ②主な事業実績	コロナ関連 事業費		事業の効果・分析等	成果目標	
				うちコロナ交付金		指標	実績
63	新型コロナウイルス感染症緊急経済対策	①プレミアム（100%）付クーポン券発行、プレミアム（30%）付商品券発行、飲食業等緊急支援交付金（対象：飲食店、宿泊業、一般常用旅客自動車運送業、自動車運転代行業、酒類卸売業及び酒小売業）、商工会経済対策支援窓口設置に係る補助金 ②プレミアム付クーポン券1シート2,000円分を1,000円で販売（使用総額37,735,000円、うちプレミアム分18,867,500円）、プレミアム付商品券1セット6,500円分を5,000円で販売（使用総額51,691,000円、うちプレミアム分11,928,692円）、飲食業等緊急支援交付金：500,000円（上限）×60件、商工会経済対策支援補助金	54,076 千円	15,162 千円	販売店舗のみで使用できるプレミアム付クーポン券は、発行数80,000枚うち75,470枚（使用率94.3%）が使用された。また、町内で使用できるプレミアム付商品券は、発行数104,000枚うち103,382枚（使用率99.4%）が使用された。ともに90%を超える利用率であったことから、町内経済の活性化及び消費の町外流出防止の効果があった。飲食業等緊急支援交付金については、令和元年度の売上高に応じた交付金を交付し、県内にまん延防止等重点措置が適用されたことにより影響が生じる町内中小企業の事業継続につながった。商工会経済対策支援においては、各種事業者支援等の相談窓口人件費及び事務経費を補助することで、町内事業所の町、県、国等の各種補助金、各種事業の支援を行うことができた。	プレミアム付商品券 使用率 100%	99.4%
64	観光事務経費	①観光イベントにおける密を避けるための屋外テントや消毒液等の整備及びコロナ禍における観光コンテンツの作成やオンライン対応のためのパソコン整備 ②テント2×3間（10張）、テント1.5×2間（4張）、ワンタッチテント（10張）、テントウェイト（20個）、ノートパソコン（1台）及びソフトウェア使用料、消毒用アルコール	2,090 千円	2,000 千円	テントを整備したことで観光イベント開催時の休憩スペースや雨天時の雨よけスペースを拡げることができ、密集を緩和することが可能となった。また専用のパソコンを整備することで、オンラインでの打ち合せ環境が構築できた。	テント整備数 22張	24張
65	浴浴センター管理運営事業	①浴浴センターまどかにおける自動手洗い器整備工事及び抗菌備品の整備 ②手洗い器自動水栓化工事、抗ウイルス椅子・テーブル（宴会場・客室）	8,320 千円	8,000 千円	浴浴センターまどかの共用トイレの手洗器を非接触化することにより、トイレでの感染防止対策を講じることができた。また、宿泊施設の宴会場や客室の机、椅子を抗ウイルス仕様のもので変更することで感染予防を図った。	利用者数 120,000人（R4）	98,970人
66	パークゴルフ場管理運営事業	①密回避のための屋外休憩スペース増設整備及び手洗い環境の整備 ②トイレ手洗い器自動水栓化工事、屋外手洗い場設置工事、ブラインドテント設置工事	1,243 千円	1,000 千円	パークゴルフ場及びクラブハウス利用者の手洗い環境の整備や共用トイレの手洗い器の非接触化、屋外休憩所の増設により、不特定多数が利用する施設において感染防止対策を講じることができた。	利用者数 14,000人（R4）	17,186人
67	放課後児童クラブ運営事業	①放課後児童クラブにおけるアルコール消毒液の整備 ②手指消毒用アルコール（30本）	198 千円	100 千円	各放課後児童クラブに対し、手指消毒用アルコールを配布し、感染拡大防止を図った。	利用児童数 250人（R4）	228人
68	小学校教育用コンピュータ管理	①GIGAスクール構想の更なる推進に向けた電子黒板の整備 ②電子黒板（16台）	9,104 千円	9,000 千円	GIGAスクールの普及に伴い電子黒板を増数することで、授業におけるデジタル化・非接触化が進展しコロナ感染拡大防止につながった。	普通学級への整備率 100%	100%
69	小学校給食業務	①吉島小学校給食室への網戸設置による換気促進 ②吉島小学校給食室網戸設置工事	218 千円	100 千円	給食室の廊下側及び外側両方に網戸を設置したことにより換気が可能となったため、感染防止が図られた。	換気用窓への網戸整備率 100%	100%
70	中学校教育用コンピュータ管理事業	①GIGAスクール構想の更なる推進に向けた電子黒板の整備 ②電子黒板（7台）	4,866 千円	4,800 千円	GIGAスクールの普及に伴い電子黒板を増数することで、授業におけるデジタル化・非接触化が進展しコロナ感染拡大防止につながった。	普通学級への整備率 100%	100%
71	スクールバス等運行管理経費	①スクールバスの大型化による密回避及びコロナ対策消耗品の整備 ②川西中学校スクールバス更新（1台）、手指消毒液・マスク等感染予防消耗品	17,873 千円	17,000 千円	各スクールバスに消毒用アルコール等の消耗品を配置し、新型コロナウイルス感染対策を講じることができた。また、スクールバスの更新により、これまでの37座席から45座席となったことで生徒同士の間隔を空けることができ、感染防止につながった。	バス整備台数 1台	1台
72	小学校事務経費	①小学校で使用する消毒用アルコール等感染防止消耗品等整備 ②CO2測定器（12台）、アルコールディスペンサー（8台）、デジタル体温計（10台）、アルコール消毒液他消毒・除菌用品	1,085 千円	500 千円	各学校に消毒用アルコール等の消耗品を配置し、新型コロナウイルス感染対策を講じることができた。	感染予防消耗品が配置されている割合（小学校） 100%	100%
73	中学校事務経費	①中学校で使用する消毒用アルコール等感染防止消耗品等整備 ②CO2測定器（1台）、アルコールディスペンサー（1台）、抗源検査キット（15個）、アルコール消毒液他消毒・除菌用品	364 千円	150 千円	各学校に消毒用アルコール等の消耗品を配置し、新型コロナウイルス感染対策を講じることができた。	感染予防消耗品が配置されている割合（中学校） 100%	100%
74	生涯学習推進（成人教育）事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため成人式への参加を見送った成人等への式のオンライン配信 ②成人式インターネット配信委託	143 千円	100 千円	新型コロナの影響で成人式に参加できない方へ成人式の模様をインターネットで配信し、一生に一度の式典を少しでも味わってもらうことができた。	配信動画再生回数 150回	178回
75	川西町交流館管理事業	①ウイルス除去機能付空気清浄機及び消毒用アルコールの整備 ②ウイルス除去機能付空気清浄機（5台）、アルコールディスペンサー（2台）、消毒用アルコール	673 千円	600 千円	手指消毒、利用箇所の消毒、空気清浄機利用の徹底により感染防止対策に役立った。	施設利用者数 10,000人（R4）	9,739人
76	フレンドリープラザ施設整備事業	①事務室及び2階会議室へのエアコン設置による換気促進 ②事務室及び2階会議室エアコン設置工事	8,712 千円	8,000 千円	夏場の冷房による熱中症対策を講じながら換気の徹底による感染防止を図ることができた。	施設利用者数 20,000人（R4）	23,102人
77	町民総合体育館整備事業	①ウイルス除去機能付空気清浄機及び消毒用アルコールの整備 ②ウイルス除去機能付空気清浄機（4台）、アルコールディスペンサー（5台）、消毒用アルコール	477 千円	400 千円	消毒用アルコールオートディスペンサーを各入口に設置したことにより、利用者の手指消毒の徹底が図られた。また、ウイルス除去機能付空気清浄機を設置したことにより、感染拡大防止が図られた。	施設利用者数 20,000人（R4）	25,238人
合 計			466,876 千円	356,891 千円		※千円未満四捨五入	